

第5回 十勝川流域委員会 議事要旨

日時:平成20年11月28日(水)13:00~16:15

場所:とち館 金枝の間

出席者:加賀屋委員長、石原委員、黒木委員、佐々木委員、藤巻委員、
眞山委員、丸山委員、山崎委員 計8名

欠席者:泉委員、山田委員

議事要旨

1. 議題

(1)資料 5-1 について

今回の流域委員会の内容について事務局より説明。

(2)資料 5-2 について

資料 5-2 について事務局から説明し、これに対し以下の質疑応答があった。

(委員)

- ・ ダムの利水容量の治水容量への活用について説明があったが、堆砂容量の活用についても説明して欲しい。放流設備があれば、堆砂容量を利水目的で使えるのではないかという趣旨であるが、放流は可能なのか。

(事務局)

- ・ 十勝ダム、札内川ダムともに、最低水位より 3m 程度下に放流設備があり、構造的には堆砂容量を活用することが可能である。ただし、実際に行う場合には、調査・検討が必要である。

(委員)

- ・ 現状では、堆砂容量を活用することは難しいと考えられるが、今後、施設改良等も含めて、活用できないかどうか検討して欲しい。

(3)資料 5-3 について

資料 5-3 について事務局から説明し、これに対し以下の質疑応答があった。

(委員)

- ・ 11 ページの浸水面積の変化のグラフは、雨量を併記した方が良い。雨量によって洪水規模は異なるが、ほぼ同じ雨量にも関わらず、浸水面積が減少し、治水効果が上がってきている。これまでの治水対策による効果をアピールすべき。

(事務局)

- ・ 資料には雨量を併記する。

(委員)

- ・ 13 ページの文言で、貯留施設とあるが、一般的にはダムと読みとれる。流量規模が大きな河川への効果は期待できないと言い切っているのか。

(事務局)

- ・ 都市部において学校の校庭等に整備するような規模の貯留施設という意味で記

載している。誤解を与えないよう「雨水貯留施設」と修正する。

(委員)

- ・ 音更川では、整備計画の河道配分流量 $900\text{m}^3/\text{s}$ と基本方針の計画高水流量 $1,700\text{m}^3/\text{s}$ との間に差があるのに対し、浦幌十勝川は、それぞれ $1,400\text{m}^3/\text{s}$ と $1,500\text{m}^3/\text{s}$ であり、差が小さい。計画の目標を戦後最大流量とすることは方法の一つだと考えるが、これら河道配分流量の妥当性を説明して欲しい。
- ・ 目標流量と河道配分流量の、数字の持つ意味を説明して欲しい。ダムによる効果量が基本方針と整備計画で異なっているが、この理由を説明して欲しい。

(委員)

- ・ 記載されている洪水時のピーク流量は実測値なのか、計算値なのか。また、ピーク流量、目標流量算出は、どのような手法、どのような条件で計算したものなのか、説明して欲しい。

(事務局)

- ・ 詳細は、次回の委員会で資料を用いてわかりやすく説明したい。

(委員)

- ・ 今回の資料に記載されている内容は、全て整備計画原案に盛り込まれるのか。また、記載されていない内容でも、整備計画に盛り込まれるものがあるのか確認したい。

(事務局)

- ・ 基本的に、今回の資料に記載している内容は整備計画に盛り込みたい。今回の資料に記載していない内容では、流域の概要等が整備計画に記載される。

(委員)

- ・ エコロジーパークについては、非常に広い公園なので、多少の掘削は影響ないと考えられるが、公園のゾーニング等もあるので、掘削する範囲についてもう少し詳しく説明して欲しい。

(事務局)

- ・ 掘削範囲を決めるにあたっては、キャンプ場等の主要施設が掘削範囲に入らないようにしている。下流の森の部分は 50m 程度掘削するが、詳細については親水性をもたせるなど施工の際に検討して行きたい。

(委員)

- ・ 音更川沿いには住宅が密集している。堤防の整備については幅を広げる形になっているが、高さは不足していないのか。現地見学の際には、高さが不足しているように感じたが。

(事務局)

- ・ 堤防の高さは、所要の高さを確保している。

(委員)

- ・ 完成堤防・暫定堤防の定義について説明して頂きたい。

(事務局)

- ・ 図を用いて次回説明する。

(委員)

- ・ 第4回委員会の議事要旨の2ページに「堤防から溢れさせずに」との記述があるが、この記述は間違い。修正して頂きたい。

(事務局)

- ・ 議事要旨の「堤防から溢れさせずに」の部分を「計画高水位以下で」と修正する

(委員)

- ・ 利別川の国管理区間と北海道管理区間の関係についてだが、それぞれの管理区間の現況流下能力の差が歴然であることに驚いた。これについて整合性を持たせて今後30年間の計画を立てられないのか、今後どのようなスタンスで整備を進めていくのか教えて欲しい。

(委員)

- ・ それぞれの区間の現況流下能力の整合はとれていると思う。足寄市街地より下流の現況流下能力はそれほど大きくないが、目標流量に対してかなり整備されてきている印象がある。陸別の方では整備未着手となっているが、目標流量に対してそれなりに流下能力がある。目標流量との整合という意味では、整合がとれている。

(事務局)

- ・ 国管理区間と北海道管理区間の境界で、双方の目標流量が2,000m³/sとなるように計画の整合を図っている。

(委員)

- ・ 内水被害対策については、総合治水的な考え方が必要ではないか。この内容では少し弱い気がする。

(委員)

- ・ 総合治水は都市部を中心とした対策であり、帯広市等の相当な協力がなければ実施することは困難であると思われる。農村部では、このような対策となるのではないか。

(事務局)

- ・ 十勝川だけではなく、道内のどこの河川でも内水被害の問題はあるが、総合治水を実施しているのは都市部がメインとなっている。しかし、現時点で制度はできていないが、最近では、農村部でも、目標を設定して内水被害を軽減することに対して、地元や国が協力して取り組んでいこうという機運が高まっている。

(委員)

- ・ 多自然川づくりという考え方は良いと思う。環境の創出という観点で、過去の事例だけでなく、今後実施する事項についても整備計画に盛り込んで欲しい。

(事務局)

- ・ 自然再生事業のように、整備計画に盛り込む規模の事業は現時点ではないが、施工の際には様々な取り組みをしていきたい。

(委員)

- ・ 平水位で掘削すると、掘削した部分が冠水と干出を繰り返すため、干出した際に、魚が水たまりに取り残されることが想定される。施工する際に配慮して欲しい。

(事務局)

- ・ 図は標準断面で記載しているため平らな形状となっているが、施工する際に詳細な形状を検討していく。

(委員)

- ・ 十勝川流域は広い範囲で魚が移動できるようだが、千代田分流堰が整備される前は、千代田堰堤に設置されている魚道を小魚が遡上できず、ここが障害となっていた。千代田分流堰の魚道が完成したことで、魚の移動障害が改善されたと思うが、これにより魚類相の変化が予想されるため、魚道のモニタリングを充分に行って欲しい。

(事務局)

- ・ 分流堰の魚道が完成し、魚類相が変わってくると予想されるため、魚道のモニタリングをしている。引き続きモニタリングを続けていきたい。

(委員)

- ・ 流下能力に支障ない範囲で樹木を保全するとあるが、保全する樹木は適切に管理することが必要である。
- ・ 利水面での食料供給地への貢献について整理されているが、この資料は現在ベースでしかまとめられていない。今後の農業の水需要に対してどれくらい水を供給できるのか等、将来のことについても触れて欲しい。
- ・ 地下水は管理者がいない状況にあるが、これをどのように使っていくか、どのように管理していくかということは、将来の問題として重要だと考えている。また、札内川沿いの地下水は札内川に向かって流れているとのことであるが、瀬切れが起きる河川なので、供給源となっている可能性もあるのではないかと。

(委員)

- ・ 整備計画は 30 年間という長期間の計画であるため、農業の見通し等、地域の将来予測や計画等をできるだけ盛り込んで欲しい。

(委員)

- ・ 植生については、ケショウヤナギ等の種レベルの保全についてまとめられているが、河畔林とか草原とか緑地環境に焦点を当てる必要がある。また、河川区域外の緑地環境との相互関係等についても言及すべき。

(事務局)

- ・ 河畔林については、河川区域外とのネットワークについても考えていく必要があると考えている。平水位掘削箇所については、草地や礫河原等の多様性のある環境をつくっていきたいと考えている。

(委員)

- ・ 十勝川流域のアイヌ文化についても触れる必要があると考える。
- ・ 十勝川を高いところから眺めることができる視点場も重要である。

(委員)

- ・ 災害時には自分の身は自分で守るという考え方も入れた上で、住民自身による危機管理の体制づくりについて整備計画に盛り込んで欲しい。関係機関同士の連携や情報共有だけではなく、関係機関から住民への適切な情報提供、住民同士の協働も必要と考える。

(委員)

- ・ 維持管理計画について記載があるが、環境管理計画等を策定するのであれば、整備計画に記載して欲しい。また、本日の資料は景観に関する部分が弱い。十勝川らしい景観についても整備計画に盛り込んで欲しい。
- ・ 整備計画の対象区間にダム区間が入っているが、ダム区間についてはどのような事項が整備計画に盛り込まれるのは説明して欲しい。

(事務局)

- ・ 環境管理計画や景観についてもしっかり整備計画に盛り込んでいきたい

(委員)

- ・ 十勝川水系河川整備計画(原案)の提示に向けた整理を進めていく段階に来ていると思う。原案の目次を明らかにし、これと今回の論点との関係を明確にした方がよい。次回の委員会で原案もしくは原案に近いものを提示した方がいい。

(委員)

- ・ 原案もしくは原案に近いものをベースに具体的な議論をする方がよいと考える。次回の流域委員会で、具体的にどういうものを示すかは委員長預かりとしていただきたい。

以上